

所属機関長殿

## 2019年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、2019年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、2019年5月31日(金、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

2019年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊 治雄



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は  
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。  
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514  
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: [info@kmf.or.jp](mailto:info@kmf.or.jp)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団  
2019年度 第27回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として50歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ① 臨床化学             | ② 分子生物学（医学） |
| ③ 臨床微生物学           | ④ 臨床免疫学     |
| ⑤ 検査血液学            | ⑥ 人体病理学     |
| ⑦ 疫学 <sup>注1</sup> | ⑧一般・生理学     |

の8つの領域とします。

注1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

2019年3月18日（月）から2019年5月31日（金）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は1件100万円を限度とし、15件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項からWord 2013ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が8つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。



## 8. 研究助成金の贈呈

2019年10月25日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

## 9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

## 10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

○所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。

○応募の書類は一切返却いたしません。

第26回研究助成金贈呈者の研究課題一覧(2018年度) 参考

氏名	所属	研究課題	選考対象
いしげ たかゆき 石毛 崇之	千葉大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 医学博士	長鎖 PCR と大量並列シーケンスによる家族性地中海熱の遺伝学的検査法の開発	分子生物学
いらいずみ もりや 岩泉 守哉	浜松医科大学 臨床検査医学 助教 医学博士	消化管癌における 5FU/TAS102 感受性 <i>MBD4</i> フレームシフト変異同定検査の開発	分子生物学
いわたが ともこ 岩永 朋子	鹿児島大学共同獣医学部 附属動物病院 特例助教	DIC 早期診断における血小板活性化- <i>NETs</i> の役割	検査血液学
おく けんじ 奥 健志	北海道大学病院内科Ⅱ (免疫・代謝内科学教室) 講師 医学博士	抗 C1q 抗体及び抗リン脂質抗体を用いた流産リスクの定量的解析	臨床免疫学
かみやま ながのり 神山 長慶	大分大学医学部 感染予防医学講座 助教 医学博士	チクングニアウイルスの迅速、簡便、安価なスクリーニング検査キットの開発	臨床微生物学
かわはた たくや 川畑 拓也	地独)大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課 主幹研究員 医学博士	訴求性の高い個別施策層向け新規 HIV 検査体制を構築する研究	疫学
そろいだ ようこ 揃田 陽子	東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 保健学博士	うっ血肝に伴う肝線維化の進行を検出する非侵襲的診断バイオマーカーの開発	臨床化学
たかたに つねのり 高谷 恒範	奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部 主任主査 医学博士	脳波周波数スペクトル解析と心拍変動による自律神経解析の検査統合法の開発とその臨床応用	一般・生理学
たんの だいき 丹野 大樹	福島県立医科大学附属病院 検査部 臨床検査技師 保健学博士	MALDI-TOF MS を応用した妊婦 GBS スクリーニング検査における新規迅速同定法の確立	臨床微生物学
はしもと たいき 橋本 大輝	国立がん研究センター 中央病院病理科 医員	RNA in situ hybridization 法を用いた大腸癌および胃癌における <i>RSPO</i> 遺伝子融合/過剰発現の効率的な検出法の開発	人体病理学
ひらた ままひろ 平田 勝啓	京都大学医学部附属病院 病理診断科・病理部 主任臨床検査技師	酵素標識 1 価 IgG 断片と免疫反応増強試薬を利用した新規迅速免疫染色法の開発と、術中病理診断への応用	人体病理学
ひらま たかし 平間 崇	東北大学 加齢医学研究所 呼吸器外科 特任助手 医学博士	肺移植患者の急性拒絶反応と慢性肺移植片機能不全における抗 HLA 抗体の役割	臨床免疫学
ますたに りょうた 榎谷 亮太	大阪医科大学附属病院 中央検査部 臨床検査技師	骨髄異形成症候群のスクリーニングにおける末梢血血小板の有用性の研究	検査血液学
みうら 三浦 こずえ	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻 准教授 獣医学博士	ポイント・オブ・ケア診断に有用なツツガムシ病簡易迅速細菌検出技術の開発	臨床微生物学
むらせ よしろう 村瀬 良朗	公財)結核予防会結核研究所 抗酸菌部細菌科 科長代理 保健学博士	携帯型ゲノム解読装置による迅速簡便・高精度・安価な結核菌遺伝子型別法の開発	臨床微生物学
やすい けんじ 安井 謙司	札幌医科大学附属病院 検査部 医療検査専門員	間質性肺疾患患者における、運動負荷心エコー図検査による心機能の評価	一般・生理学

総申請者 254 名  
研究助成金総額 1,530 万円(16 名)